



再発見から創造へ
魂を活性化する元気なまちづくりを進めよう

勝沼トーク ～ Monthly talk in Katsunuma

日本の近代化と甲州財閥

甲州財閥とは、若尾逸平、雨宮敬次郎、根津嘉一郎、小野金六などの郷土意識を基盤とした山梨県出身の実業家集団の総称です。明治から大正期にかけて、電気、鉄道、ガスなどの事業への経営参画を通じて東京の産業界に地盤を築きました。勝沼の近代産業遺産もこうした甲州財閥とのつながりを抜きに語ることはできません。

また、甲州財閥の多くは東京や大阪などで活躍しましたが、甲州への愛着は強く、釜無川に開国橋を架けたり、県内各小学校に200台以上のピアノを寄贈したりと教育文化面で山梨に貢献することを忘れませんでした。

3月の勝沼トークでは、山梨の歴史文化に造詣が深い、小説家で増穂町在住の江宮隆之先生をゲストにお招きし、日本の近代化における甲州財閥の意義などについてお話しいただきます。ぜひご参加ください。

■開催日 平成20年3月14日（金）

■開催時間 午後7時～

■場所 甲州市立勝沼図書館研修室

■ゲスト 小説家 江宮隆之 氏

プロフィール:「経清記」で第13回歴史文学賞受賞。日韓交流に大きな足跡を残した浅川巧を描く『白磁の人』で第8回中村星湖賞受賞。主な作品に『凍てる指』『一葉の雲』『井上井月伝説』『歳三奔る』『女たちの新撰組』『武田勝頼一花の歳月』『山本勘助とはなにものか』などがある。

主催 NPO法人KOSHUかつぬま文化研究所

事務所 山梨県甲州市勝沼町勝沼2997 お問い合わせ

代表者 代表理事 小澤正光

E-mail katsu_bunka@yahoo.co.jp